あわら市・紹興市
友好都市締結35周年

問合せ　総務課　秘書G　☎73-8003

友好訪中団 派遣

下番出身の医師・藤野厳九郎（ふじのげんくろう）と紹興市出身の文豪・魯迅（ろじん）の師弟愛が機縁となり、あわら市（旧芦原町）と中国浙江省紹興市が友好都市を締結してから、今年で35周年を迎えました。

これまで、市内の中高生が紹興市を訪問するなど、交流を深めてきましたが、今年は35周年を記念して、11月に佐々木市長を総団長とする「第6次あわら市友好訪中団」を派遣しました。市が公式訪中団を結成するのは、10年ぶりのことです。訪中団は、市長や森市議会議長など6人による「あわら市代表団」と、齊藤愛夫あわら市日本中国友好協会会長を団長とし、市議会議員や一般公募など17人による「あわら市日中友好交流団」の2つで構成。今後の両市の友好関係を維持発展させ、青少年や文化、観光、産業などの分野での交流拡大を図ることなどを目的に、表敬訪問や視察、記念式典や紹興市主催の「国際友好都市大会」に出席しました。

紹興市友好訪問団 来市

あわら市友好訪中団派遣に先駆けて、8月に盛関春（せいかんしゅん）紹興市長を団長とした、市の関係者や企業経営者、芸術家など24人の紹興市友好訪問団が来市しました。

記念式典として、佐々木市長への表敬訪問とあわら市の関係者や企業経営者との夕食会を実施。両市の紹介や伝統芸能の披露など、文化交流を図りました。

翌日には、藤野厳九郎記念館前で、北京の魯迅邸にも植えてある「友情」の花言葉を持つライラックの木を植樹し、両市のさらなる友好を誓いました。

「藤野厳九郎と魯迅の像」前で握手を交わす両市長

紹興市友好訪問団と一緒に

▼市役所を訪れた紹興市の皆さんと市の職員、議員らも交流を深めました

紹興酒のおいしい入れ方を紹介

紹興市発祥の伝統芸能「越劇」

「芦原節」など民謡を披露

あわら市代表団の日程

あわら市代表団は、浙江省人民政府を表敬訪問するとともに、紹興市内の中学校や経済開発区などを視察しました。また、国際友好都市大会と友好都市締結35周年記念式典に出席しました。

国際友好都市大会には、紹興市と友好都市を締結している世界18カ国54都市から約600人が参加。会場では、友好都市写真展も開催され、あわら市もあわら温泉や金津祭などの写真を展示し、世界に魅力を発信しました。

35周年記念式典は、同じく友好都市締結35周年を迎えた富山県南砺市と合同で開催され、3市の約70人が参加しました。佐々木市長は、藤野厳九郎と魯迅を題材にした漫画「藤野先生と魯迅 海を超えた師弟の交流 日本と中国の絆」を紹介し、紹興市長に贈呈しました。

浙江省人民政府を表敬訪問

杭州湾上虞経済技術開発区（紹興市）を視察

紹興市文理学院付属中学校を表敬訪問

◀浙江省人民対外友好協会副会長にも、漫画「藤野先生と魯迅」を贈呈しました。

11月4日（日）～8日（木）※4日と8日は移動日

5日（月）	浙江省人民政府 表敬訪問（杭州市） 浙江省文化・旅遊庁長との会談 国際友好都市大会【第1日目】	友好都市写真展、レセプションなど
6日（火）	国際友好都市大会【第2日目】	開幕式、フォーラムなど
7日（水）	紹興市内 視察 友好都市締結35周年記念式典	紹興市長表敬訪問、記念レセプション

藤野厳九郎と魯迅

二人の関係は、藤野厳九郎が当時勤めていた仙台医学専門学校（現 東北大医学部）に魯迅が留学して来たことから始まりました。藤野は、魯迅の講義ノートを添削するなど何かと気に掛け、魯迅もまたそんな藤野を慕っていました。2人の交流はわずか1年半と短いものでしたが、後年、魯迅は藤野をモデルにした小説「藤野先生」を発表するなど、藤野のことを生涯大切に思っていました。

紹興市と南砺市の皆さんに漫画を紹介

3市の参加者が勢ぞろい

紹興市からの歓迎

女将もあわら市の魅力をPR

あわら市・南砺市・紹興市の参加者全員で

友好都市締結35周年記念式典

紹興市に対して、さまざまな分野での交流のさらなる発展、特にあわら市への観光客の送客に対する支援を要請しました。

友好都市写真展であわら市の風土や魅力をPR

世界各国の友好都市を代表して佐々木市長があいさつ

世界18カ国54都市の代表が集結

国際友好都市大会

世界18カ国54都市ある紹興市の友好都市を代表して、開幕式で佐々木市長があいさつを行いました。

あわら市日中友好交流団の日程

あわら市日中友好交流団は、紹興市にある魯迅の故郷「魯迅故里」や他市の視察を行ったほか、あわら市代表団と同じく友好都市締結35周年記念式典に出席しました。記念レセプションでは、団員である「あわら温泉女将の会」の会員2人が、日本舞踊を披露したり、地酒「女将」を振る舞ったりするなど、あわら市をPR。紹興市の関係者からは「日本の温泉文化に興味がある」、「あわら温泉に行ってみたい」といった声をいただきました。

11月5日（月）～9日（金）※5日と9日は移動日

6日（火）	杭州市内 視察
7日（水）	紹興市内 視察 友好都市締結35周年記念式典
8日（木）	上海市内 視察

「魯迅故里」（魯迅の故郷）にて

▶「魯迅故里」には、10年前にあわら市が寄贈した藤野厳九郎の胸像が設置されていました【下】

35周年記念講演会 開催

訪中団帰国後には、あわら市・紹興市友好都市締結35周年記念講演を開催。「学習まんが 歴史で感動！ 藤野先生と魯迅 海を超えた師弟の交流 日本と中国の絆」の原作を担当した「ふくい歴女の会」の後藤ひろみ氏と、同じく企画・構成・監修を担当した歴史家・加来耕三氏に、それぞれ「藤野厳九郎と魯迅」、「ニッポンの夜明けは福井から」という演題で講演していただきました。後藤氏は「藤野に根付いていた松平春嶽や橋本左内の思想が魯迅へと入っていった」という考えを披露し、加来氏は「歴史は、結果だけではなく何をしようとしたかということを大事にして学んでほしい」と説明。会場には170人を超える多くの聴衆が訪れ、2人の話に聞き入っていました。

▲講演する後藤ひろみ氏（上）と加来耕三氏（下）

全国の書店で好評発売中！

学習まんが 歴史で感動！
「藤野先生と魯迅 海を超えた師弟の交流 日本と中国の絆」
（ポプラ社刊）
企画・構成・監修：加来耕三
原作：後藤ひろみ
作画：中島健志